

事務事業マネジメントシート(平成25年度実績と平成26年度計画)

平成26年12月9日更新

事務事業名	日本工業用水協会等参画事業		<input type="checkbox"/> マニフェスト関連	<input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連	<input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連
総合計画	政策	3 働く人々が輝き続けるまちづくり	所属部	水道局	課長名 可徳 精至
体系	施策	13 働く場の確保と企業誘致の促進	所属課	上下水道課	担当者名 松岡 綾
	基本事業	40 企業誘致の促進	所属班	庶務料金班	(内線) 1163
予算科目	会計企業	款 項 目 事業連番 法令根拠	地方公営企業法		成果優先度評価結果 : ① コスト削減優先度評価結果 : -
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 25年度で終了 <input type="checkbox"/> 25年度から開始		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)	

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】 (開始した背景・きっかけ・今後の状況変化を含む)	熊本県が平成8年度から造成を開始したセミコンテクノパーク(当時:第2テクノパーク)内のインフラ整備として、工業用水道の建設も平成8年度から始まり、平成10年4月に一部給水を開始し、平成12年度に完成した。これに伴い、平成14年度から日本工業用水協会に入会した。平成9年度は、建設事業のみであったが、10年度1社、13年度3社、14年度1社(現在工業用水休止)、16年度1社、19年度1社、23年度1社供給開始。現在計7社に工業用水を供給している。関係法令の解釈等も変化しているため、全国的な組織等に加入し、工業用水道に関する研修等に参加し、情報を定期的に入手する。
【業務の流れ】	日本工業用水協会、公営工業用水道事業九州ブロック連絡協議会に負担金を支払い、各種研修会等へ参加する。
【主な予算費目】	旅費・負担金・賃借料
【意見や要望】 関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1)事務事業の目的と指標	新規・拡充区分:
①手段(主な活動) 25年度実績(25年度に行った主な活動)(DO)	26年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)
加入協会(日本工業用水協会、公営工業用水道事業九州ブロック連絡協議会)に負担金を支払い、工業用水道事業に関する情報を定期的に入手し、各種研修会等に参加した。	前年度と同じ
①活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 予算の主な増減の理由
ア:研修等参加延べ人数	人
②対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等	②対象指標(対象の大きさを表す指標)
水道局職員	(単位) 人
	ア:水道局職員数(工業用水道事業会計)
	イ:
③意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	③成果指標(意図の達成度を表す指標)
工業用水道の現状及び最新情報を入手する。	(単位) 件
	ア:入手できた情報件数
	イ:予定する研修に実際に出席できた職員の割合 %
*③成果指標設定の理由と26年度目標値設定の根拠	
工業用水道の現状の把握及び最新情報を入手することで、水源の保全や地盤沈下防止に繋がる。入手できた情報件数をもとに、職員が水道事業の現状を把握することができ、最新の情報を入手できたかを測れると考えた。また、予定する研修に実際に出席できた職員の割合をみることで、情報を入手するための参加しやすい環境及び体制が整っているかを判断できると考えた。	
総トータルコスト 全体計画 ~ 年度 0	

(2)各指標・総事業費の推移	単位	23年度実績(決算)	24年度実績(決算)	25年度目標(当初予算)	25年度実績(決算)	26年度目標(当初予算)	27年度予定	28年度見込	29年度見込
①活動指標	人	2	1	1	3	1	1	1	1
②対象指標	人	1	1	1	1	1	1	1	1
③成果指標	件	15	9	8	32	8	8	8	8
	%	0	0	0	100	70	75	80	85
投資 入 費 量	国庫支出金	千円							
	都道府県支出金	千円							
	地方債	千円							
	その他	千円	182	104	281	213	150	150	150
	繰入金	千円	1	1	1	1	1	1	1
	一般財源	千円							
	(A)事業費計	千円	183	105	282	214	151	151	151
	(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0	0	0	0
	(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0
	正規職員従事人数	人	7	4	2	4	2	2	2
延べ業務時間	時間	69	37	20	44	20	20	20	
(B)人件費計	千円	278	150	81	175	81	81	81	
トータルコスト(A)+(B)	千円	461	255	363	389	232	232	232	

事務事業名	日本工業用水協会等参画事業	所属部	水道局	所属課	上下水道課
-------	---------------	-----	-----	-----	-------

2 評価の部（SEE）

*原則は25年度の後評価、ただし複数年度事業は25年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①25年度目標達成度評価 事務事業の当年度実績は当年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した <input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】
	②26年度目標達成見込み 事務事業の次年度目標値に対して次年度の見込みはついているのか？	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 研修会等に参加することで、工業用水道事業に関する最新情報を入手する予定であり、目標達成の見込みはある。
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになってないか？	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 常に情報を収集し、職員の異動等に対応する必要がある、積極的に研修会等に参加するとともに、参加予定とした研修への出席を優先できるようスケジュール調整を図ることで、成果向上の余地はある。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある⇒【理由】（具体的な手段、事務事業） <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 工業用水道事業に関するものであり、類似事業はない。
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？（仕様や工法の適正化、住民の協力など）	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 必要に応じた研修参加にしばっているため、削減の余地はない。
	⑥人件費（延べ業務時間）の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？（アウトソーシングなど）	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 最小限の人員にしばっており、削減の余地がない。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 加入区域であるセミコンテクノパークの立地企業すべてに受益機会があるため公平・公正である。
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化 事業事務のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行できないか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 工業用水の合理的な供給を確保し、地下水の保全を図り、工業の健全な発達と地盤の沈下の防止を資することを目的とした工業用水道について、事業者である市が現状の把握及び最新の情報を入手するための参画であり、行政の役割分担は適正である。

3 評価結果の総括（SEE） ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

積極的に研修会等へ参加し、知識の向上に努めた結果、目標を達成できた。

4 今後の方向性（事務事業担当課案）（PLAN）

(1) 今後の事業の方向性（改革改善案）・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善（有効性改善） <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善（効率性改善） <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善（公平性改善） <input type="checkbox"/> 現状維持（従来通りで特に改革改善をしない） 常に情報を収集し、職員の異動等にも対応する必要がある、積極的に研修会等に参加するとともに、参加予定とした研修への出席を優先できるようスケジュール調整を図ることにより、成果の向上を図る。	(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)																				
	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○		維持				低下		
				コスト																	
		削減	維持	増加																	
成果	向上		○																		
	維持																				
	低下																				
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策																					